

ずっと来てみたかったので、オープンが待ち遠しかったです。評判通り、雰囲気もお料理もとても優しくて美味しくってとてもステキでした。時間はいつもと同じく過ぎているのに、ここで過ごした時間はとても優しくてゆっくり過ぎて、とても癒されました。引っ越すのでちょっと遠くなりますが、また何回も来ます。みなさんお身体に気を付けてください。

1つ1つとても丁寧に作られていておいしい〜!!と声が出てしまいました。初夏の心地よい風がふきぬけ やさしい緑の木々にいやされた時間でした。

全ての料理が美味しかったです。

静かな店内で、調理の音が聞こえるのが風情があって落ち着く。またごはん食べにきます。

おいしかったです。ごちそうさまでした。前に鶴ヶ城に行ったときに大玉村の小学生が大きな声で大玉村の紹介をしていました。一度行ってみたいと思い、今日、東京から来ました。

お膳と抹茶、とても美味しくいただきました。今日は一人でしたので、食べきれないと困ると思い朝ごはんを食べずに来て良かったです。すべて残すことなく最後まで完食でした。

平日にありがとうございました。野菜がとってもおいしかったです。品数が多いので量も十分でした。

今日は母の83才のBirthday！
2週間前くらいの平日夜に役場に予約の電話をしてワクワク楽しみにして来ました。感想は、どれも彩りがよくお味も量もちょうど良くて美味しかったです!! 母共々、ゆったりした時間を過ごすことができ食後のコーヒーとお抹茶も大変美味しかったです。

あたたかみのあるすごく素敵な雰囲気でもとてもほっこりしました(^^)♡
お食事の彩りも盛り付けも素敵で、運んでくださった瞬間に思わず「わあ〜!」と言ってしまいました。お料理も全部美味しくて是非また来たいです♪
お抹茶もとっても美味しかったです!!

店舗情報



☎0243-24-7410
〒969-1302

福島県安達郡大玉村
玉井字前ヶ岳国有林7林班

OPEN: 土・日
10:30 ~ 14:30
(平日: 12名以上の団体様のみ
利用可です。ご相談ください)

お食事の数には限りがあります。
事前予約がおすすめです。

☎土・日 0243-24-7410
(森の民話茶屋)

☎平日 0243-24-8096
(大玉村役場産業課)



↑ Google マップ

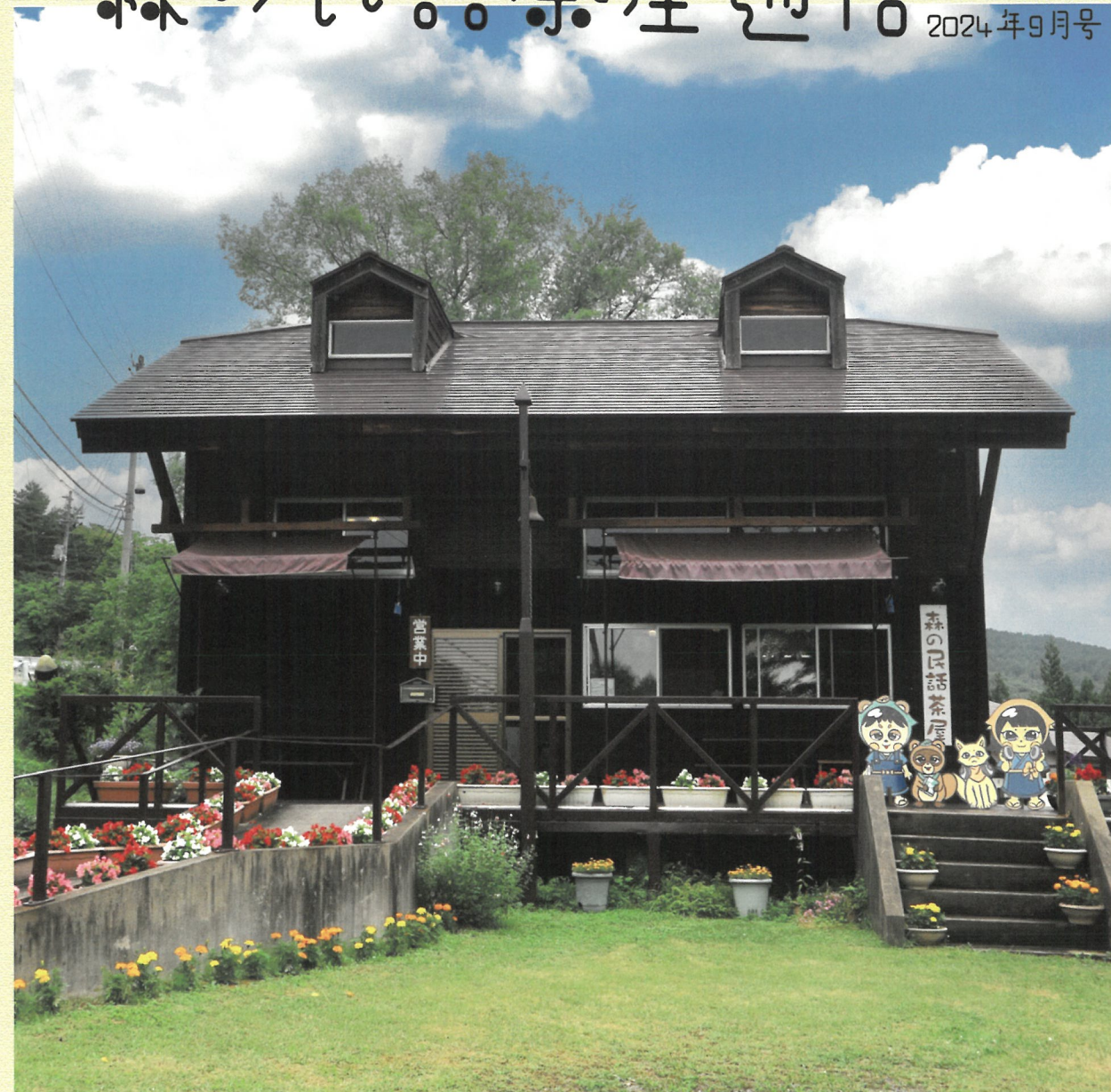


↑ 森の民話茶屋通信
Vol. 1 ~ 22 を見る

ふるさと民話とふるさとの食をつなぐ

森の民話茶屋通信 Vol. 24

2024年9月号



「民話」って何のためのもの？

「民話」って誰のためのもの？

—森の民話茶屋運営委員会—

民話ってなに？

「民話」と聞いてあなたは何を思い浮かべますか？
そして、民話は大玉村（ふるさと）にとってなぜ大切なのでしょうか。

What?

なにげなく使っている『民話』という言葉ですが、そもそも『民話』とはどのようなおはなしのことを指すのでしょうか？

『民話』という言葉を広辞苑で調べると、
「民衆の中から生まれ伝承されてきた説話、民譚（みんだん）」と書かれています。
『民話』は、**土地との結びつきがあるおはなし**を指すという特徴があり、
そこが『昔話』とは異なるのです。

百聞は一見に如かず。ということで、
大玉村の人々が語り継いできた民話をご紹介します！

「名倉山と苗松山が喧嘩した話」
むがあし むがあし まずあつたど。
村の西にある名倉山と
村の東にある苗松山とが喧嘩したど。
なあして 喧嘩したがつうどナイ。
どつちが背え ずんねえが つうこと
で 喧嘩したど。
なんつたつて 遠くに見えるのが
ちつちやこぐ 見える。
わがごとは ずんねえ見えるもんナイ。
まず苗松山が
「名倉山あ 俺の方が 背え ずんねえ
ぞ。」と声張り上げたど。
すると 名倉山だつて 負けていねえ
「何い語る。俺の方が ずんねえぞ。」
と叫んだど。
苗松山は ござやいで（腹立てて）
「ちつちやこいくせに 威張つてん
なあつ。」
名倉山も負けていねえ
「そつちこそ 良ーぐ 見てみろつ。
ちつちやこいは そつちだつ。」
二つの山は どつちも 負けねえ。
「ずんねえ。ちつちやえ。」
「ずんねえ。ちつちやえ。」
どつて言い争っていたど。
その内に 苗松山は
「生意気だつ。俺は岳山（安達太良山）
の兄ちゃんだぞつ。」
と名倉山をぶん殴つたど。
名倉山は 苗松山に ぶん殴られて
「ぶん殴られ山…ぶん殴られ山…なぐられ
山…なぐられ山」で『名倉山』つう名前
になつたど。
名倉山だつて殴られつぱなし ではない
らんながら 苗松山の顔を引っ掻いたど。
ほんだがらナイ。苗松山には 今でも
その引っ掻き傷が残っていて その傷の
所は 何百年経つても 草木も生えね
えんだど。
今度 苗松山の顔を見てみせ。

Why?

なぜ民話はふるさとに必要なの？

「民衆の中で生まれ伝承されてきた」という『民話』の意味を、森の民話茶屋では
『土と向かい合って暮らした先祖たちが残した汗と涙、笑いを煮詰めた一滴。』
と言い表しています。

「名倉山と苗松山が喧嘩した話」からも お分かりいただけるように、
民話は、ふるさとの先祖たちが **どのように自然と向き合いこの地で暮らしていたか**
異なる時代を生きる私たちに教えてくれます。

“地域固有の文化”である先祖が語ったおはなしも、方言も、
無形で目に見えないものはその地域の人々が守っていかなければ
だんだんと消えていってしまいます。
今、絶やさず繋いでいくことが重要です。

誰かに教えること、誰かに教えてもらうこと、そこから語りが始まっていくのです。

ふるさとの方言クイズ

むずかしさ★☆☆

おはなしにも出てきた「ずんねえ」という言葉はどのような意味でしょうか？
こたえは、ふるさとの言葉を知る身近な人に聞いてみてください！

ふるさとの言葉を知ること、ふるさとのおはなしの世界に近づく最初の一步！
そしてそれは、ふるさとを知ることに繋がります。ふるさとの言葉、方言を覚えてみましょう！

七夕の朗読会 × 星空のおはなし



あだたら天文台協力会
渡辺さん・佐原さん

大玉村地域おこし協力隊
OB 小川氏が企画・運営を
した「おおたま七夕まつり」



夜にほつと明りが灯った茶屋

雨で延期されていた「おおたま七夕まつり」
夜の部が森の民話茶屋にて開催されました。

この日はあいにく濃い霧がかかっていたため
星空も天の川も見られず・・・
ですが、「織姫と彦星のおはなし」と「星空の
おはなし」を茶屋の建物内で聴くという
めったにない貴重な時間となりました。

この時期、昼間の茶屋は夏の虫の鳴き声で
賑やかですが、夜の茶屋はとても静かで
神秘的な雰囲気。
森の民話茶屋での天体観測、また開催する時
には皆様どうぞ、足をお運びくださいね。

自転車紙芝居



おはなしボランティアゆめこじ 田辺さん

令和6年度着任教職員村内研修会にて。
お食事のあとはおまちかねの
おはなしタイム！

駄菓子を積んだ自転車紙芝居が
森の民話茶屋にやってきました！
店内に鳴り響く拍子木の合図で、先生方も
森の民話茶屋スタッフも紙芝居の世界に
すーっと没入。
茶屋の空間と自転車紙芝居、なんだかとても
ぴったりな組み合わせでした。

紙芝居の前には森の民話茶屋からのおはなしも。
大玉村の大切なこども達の大切な先生方に
おはなしの力・言葉の力を少しでも伝えられ
ていたら、とても嬉しいことです。

ーイロイロなおはなしのカッチー

語り、朗読、紙芝居。

昔のおはなし、今のおはなし。

自然のおはなし、生き物のおはなし、世間話。

おはなしのカタチ はたくさんあって、それぞれに面白さや素晴らしさがあります。
森の民話茶屋が「いろいろなおはなし」で溢れる“おはなしの拠点”として
あり続けられたら、どんなに素敵なことでしょうか。